

◇ 穿の洞窟 (うげのどうくつ)

領内名勝図巻 第二巻 阿蘇郡菅尾手永之内 矢野良勝筆

熊本市より車で2時間弱。山都町清和地区の緑川源流付近を緑仙峡と呼び、キャンプ場や廃校となった小学校を活用した野外活動の拠点施設“清流館”などがあります。

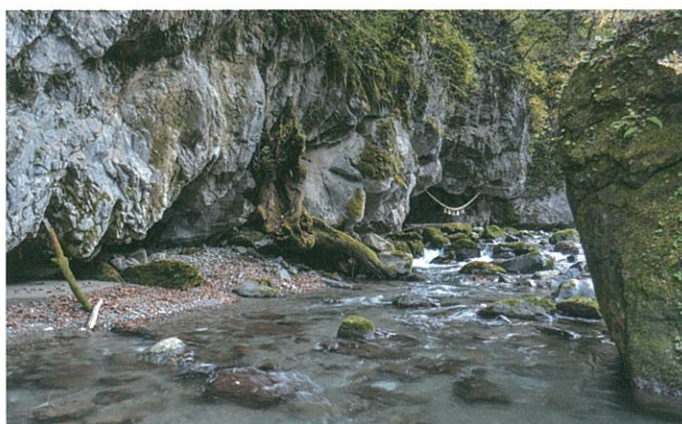
“穿の洞窟”は、キャンプ場からさらに2キロほど進んだ場所にあります。車道から洞窟への下り口の手前20m程に車2台分の駐車スペースがあります。キャンプ場から先の道は、かなり狭くなっていますので、運転にはご注意ください。

洞窟の手前には穿神社が祀られており、毎年11月3日に地元の人々により祭礼が行われ、併せて「緑仙峡もみじ祭り」が開催されます。洞窟前の注連縄などもこの時に新しいものに取り換えられるようです。

穿の洞窟は鍾乳洞で、『肥後国誌』には「緑川の水はこの穿の洞窟から流れ出」と記されており、伝説では日向の国まで通じていると伝えられています。昭和50年(1975)に熊本商科大学(現熊本学園大学)探検同好会の調査が行われ天井高7メートルほどのホールが存在などが明らかになりましたが、全容は未だ不明です。



日向の国まで通じていると伝わる洞窟



緑川の源近くの清流



領内名勝図巻

永青文庫所蔵



現在の風景



所在地：熊本県上益城郡山都町緑川



ギャラリーに設置してあるタッチパネル式ディスプレイで4k画質の動画をお楽しみいただけます